

# Technics

ステレオカセットデッキ

品番 RS-BX4010

取扱説明書



■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要ときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

RQT2372-T

このたびはステレオカセットデッキをお買い上げ  
いただき、まことにありがとうございました。

## もくじ

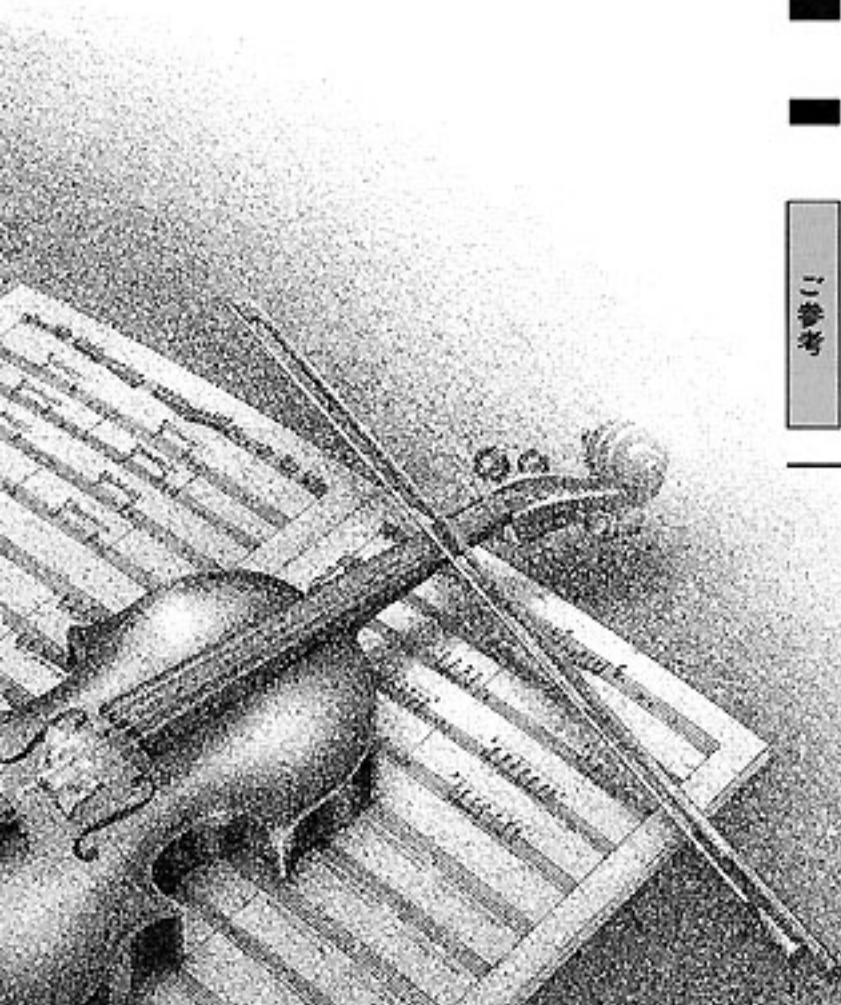
準 備	必ずお守りください .....	3
	各部のなまえ .....	4
	接続 .....	5
	ワイヤードリモコンの準備 .....	6

再 生	テープを聞く .....	7
	巻戻し・早送りする .....	8
	曲の頭出しをする (TPS機能) .....	9
	カウンターを使う .....	10
	ヘッドホンで聞く .....	10
好みの位置まで巻き戻す .....	11	

録 音	録音する .....	12
	ATC機能について .....	14
	FMステレオ放送をきれいに録音する .....	15
	無音部分を作る .....	16
	録音済みテープの音を消す .....	16

ワイヤードリモコンを使う .....	17
--------------------	----

こ 参 考	テープについて .....	18
	お手入れ .....	18
	著作権について .....	19
	定格 .....	19
	故障かな!? .....	裏表紙



# 必ずお守りください

## 電源は、AC（交流）100Vで



電源コードは正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると危険です。

- プラグを持つ
- ぬれた手でさわらない
- 重いものを載せない
- 無理に曲げない

## 加工・改造・異物の挿入はしない



感電や故障の原因になります。特にお子様にはご注意ください。

## 水・薬品はかからないように



引火・火災や感電の恐れがあります。また、本機の上に可燃性ガスが入ったヘアースプレーなどを置かないでください。

## 指を入れないで



カセットホルダーが閉まるときに、指をはさむおそれがあります。

## 設置は安定した、風通しのよい所に



キャビネットや部品をいためますので、次のようなところは避けてください。

- 湿気の多い所
- 倉庫などほこりの多い所
- 直射日光の当たる所など温度が高い所

## 長期間使用しないときは

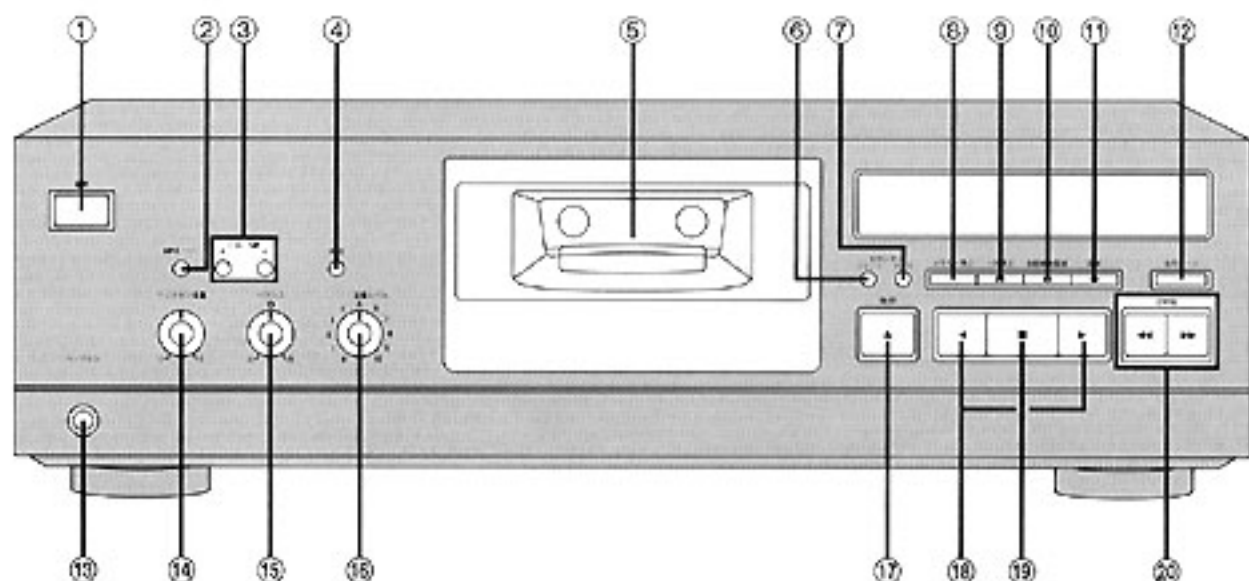


思わぬ事故を避けるため、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

## 万一、故障が起きたら



電源コードを抜き、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



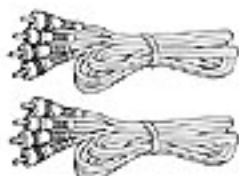
番号	なまえ	参照ページ
①	電源ボタン (電源)	7
②	MPXフィルターボタン (MPX フィルター)	15
③	ドルビーNRボタン (ドルビー NR B,C)	7
④	ATC動作ボタン (ATC)	12
⑤	カセットホルダー	—
⑥	カウンターリセットボタン (カウンター リセット)	10
⑦	カウンター切換ボタン (カウンター モード)	10
⑧	メモリー停止ボタン (メモリー停止)	11
⑨	一時停止ボタン (   一時停止)	7
⑩	自動無音録音ボタン (● 自動無音録音)	16
⑪	録音ボタン (● 録音)	12
⑫	走行モード切換ボタン (走行モード)	7

番号	なまえ	参照ページ
⑬	ヘッドホンジャック (ヘッドホン)	10
⑭	ヘッドホン音量調整つまみ (ヘッドホン音量)	10
⑮	録音バランス調整つまみ (バランス)	12
⑯	録音レベル調整つまみ (録音レベル)	13
⑰	カセットホルダー開閉ボタン (▲ 開/閉)	7
⑱	再生・録音開始ボタン (◀▶)	7
⑲	停止ボタン (■)	7
⑳	巻戻し/早送り、頻出しボタン (◀◀/▶▶ [TPS])	8, 9



接続の前にまず付属品を確かめてください。

## 付属品



□ステレオピンコード(2本)



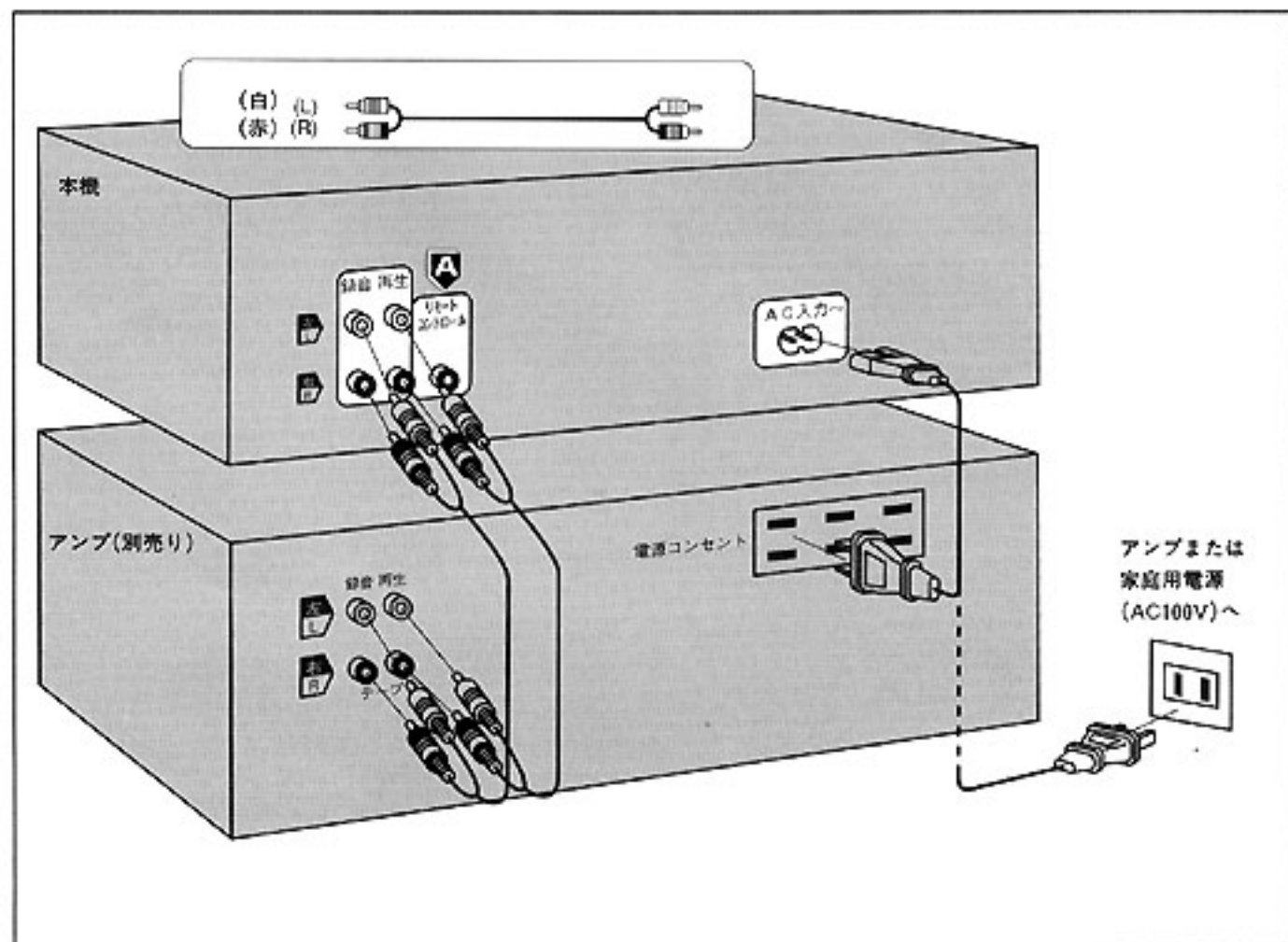
□電源コード(1本)



□ワイヤードリモコン  
(EURSBAC00CIA)



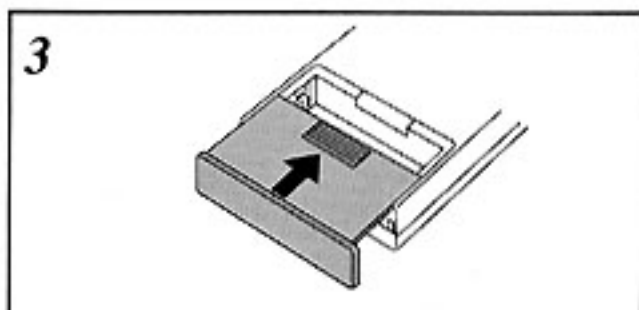
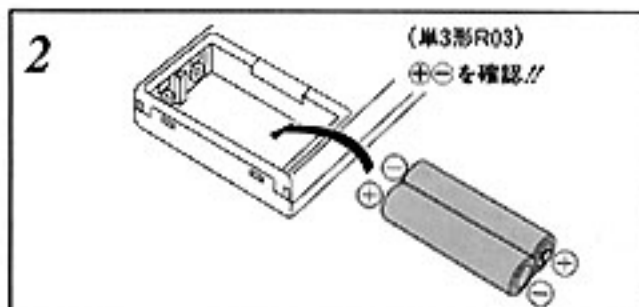
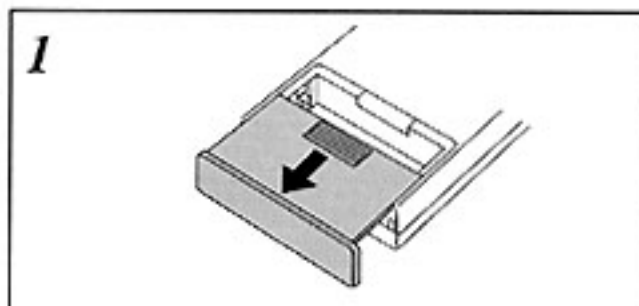
□リモコン用乾電池  
(単3形)(2コ)



**A** ワイヤードリモコンを接続するには (p.6ページ)

# ワイヤードリモコンの準備

## 乾電池の入れかた



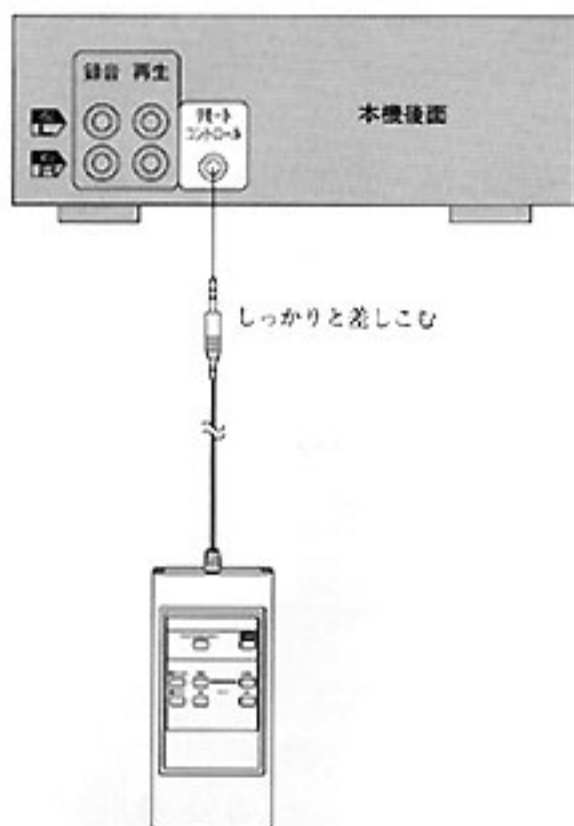
### 乾電池の破損・液漏れ防止のために

- ・新旧・異種の乾電池は混用しない。
- ・+プラスと-マイナスは正しく入れる。
- ・充電をしない。
- ・長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。
- ・火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしない。

### 乾電池の寿命は約1年です

リモコンを操作しても動かないときは、交換してください。

## ワイヤードリモコンの接続



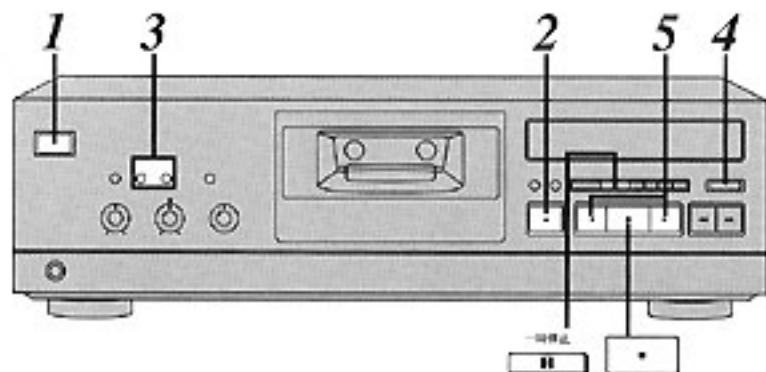
### ご注意

ワイヤードリモコンのコードを延長して使用しないでください。

コードを強く引っばらないでください。プラグがゆるみ操作不良の原因になります。

### リモコンの故障防止のために

- ・分解、改造をしない。
- ・重いものを載せない。
- ・直射日光の当たる所に放置しない。
- ・ジュースなど液状のものをこぼさない。



- 1** 電源 電源ボタンを押し、電源を入れる



- 2** 開閉 開/閉ボタンを押し、テープを入れる



もう一度押すと、閉まります。  
おもて面 うら面  
テープ面を下に



テープタイプが表示されます。

- 3** ドルビー NR B または C ボタンを押し、ドルビー NR のタイプを選ぶ



点灯

もう一度押すと、消灯(OFF)します。  
録音時と同じタイプを選んでください。  
ドルビー NR システムで録音されていないテープのときは、表示を消してください。

- 4** 走行モード 走行モードボタンを押し、好みの走行モードを選ぶ (p.8 ページ)

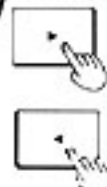


押すたびに、表示が切り換わります。

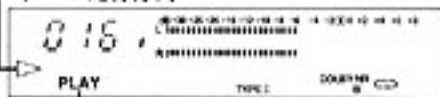
≡ : 片面再生

∞ : 両面再生 (往復8回)

- 5** ◀ または ▶ ボタンを押し、再生を始める  
▶ : おもて面から聞くとき  
◀ : うら面から聞くとき



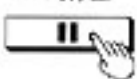
テープ走行方向



点灯

- 一時停止するには

一時停止



一時停止ボタンを押す

“PLAY” 表示が点滅します。

もう一度押すと、再生を再開します。

- 止めるには



■ ボタンを押す

### ご参考

カセットホルダーが開いているときでも、◀/▶ ボタンまたは◀◀/▶▶ ボタンを押すとホルダーが閉まり、再生または巻戻し/早送りを始めます。

### オートテープセレクト機能について

本機がテープの種類を自動で識別しバイアスとイコライザーを設定します。

テープの種類は以下のように表示されます。

ディスプレイ表示	テープの種類
TYPE I	ノーマル
TYPE II	クローム
TYPE IV	メタル

## ドルビーNRシステムについて

「サー」という高音域の雑音（ヒスノイズ）を減らすシステムです。録音時に高い周波数部分のレベルを上げ、再生時にその分だけレベルを下げて元に戻します。

タイプ	効果
B	ノイズは約1/3になります。
C	ノイズは約1/10になり、より優れたノイズ低減効果が得られます。

ドルビーNRの効果は、録音時と再生時に同じタイプを使うことによって得られます。



・ドルビーNR（**DX**）と表示された市販テープや機器はBタイプです。




## ご参考

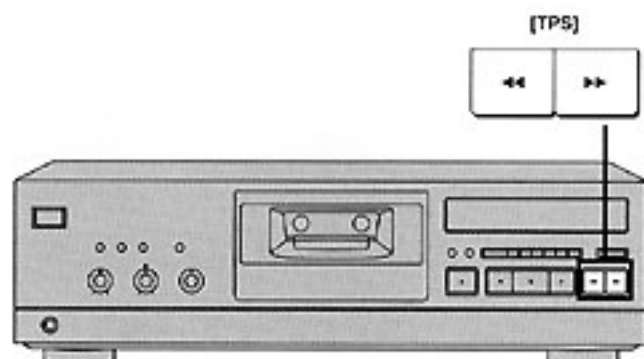
本機はドルビーNRシステムのほかに、録音時の高域特性を自動的に改善するドルビーHXプロシステムを搭載しています。このシステムは録音時にのみ働くため、本機で録音したテープを他のデッキで再生しても同じ効果を得ることができます。



ドルビーノイズリダクション及びHXPROヘッドルームエクステンションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。HXPROはバングアンドオルフセンの考案です。ドルビー、DOLBY、ダブルD記号 **DX** 及びHXPROはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

## 走行モードについて

本機には、二種類の走行モード（、）があります。各モードでのテープ走行は、以下の通りです。

モード	テープ走行
 / 	テープ片面（おもて面またはうら面）を再生し、再生が終わると停止します。
	テープ両面を、8回くり返して再生し、再生が終わると停止します。 （うら面から再生を始めると、おもて面の再生は、7回になります。）



本機は両面再生が可能のため、テープの走行方向によって、 /  ボタンの働きが変わります。

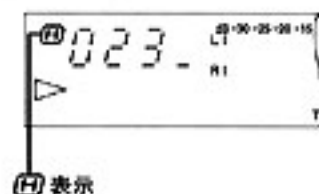
テープ走行方向	巻戻し	早送り
		
		

## 高速走行について

本機には、巻戻し・早送りや頭出しの速さが自動的に通常の約2倍になる高速走行の機能を備えています。

（テープ保護のため、終端近くで通常の速さに戻ります。）

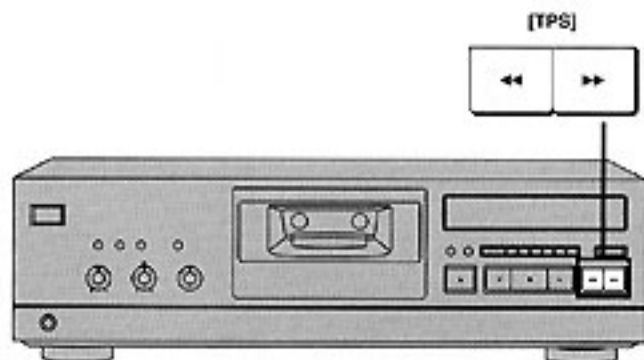
高速走行中は、**H**表示が点灯します。





# 曲の頭出しをする (TPS機能)

テープ プログラム センサー  
(TPS: Tape Program Sensor)



曲間の無音部に達すると、自動的に再生を再開します。

本機は両面再生が可能のため、テープの走行方向によって、◀◀/▶▶ボタンの動きが変わります。

テープ走行方向	今聞いている曲の頭へ戻るとき	次の曲の最初から再生するとき
▶	◀◀	▶▶
◀	▶▶	◀◀

通常の速さに戻すには  
現在の走行方向と同じ向き  
の◀◀または▶▶ボタンを押す。

- ・TPS操作中は、“PLAY”表示が早く点滅します。
- ・現在聞いている曲から数曲先、または数曲後の曲を頭出ししたい時は、好みの曲の頭出しができるまで、同じ操作をくり返してください。
- ・リバースモードが“◀◀”になっているときは、テープの終端で反対面に切り換わり、続けてTPS機能が動きます。

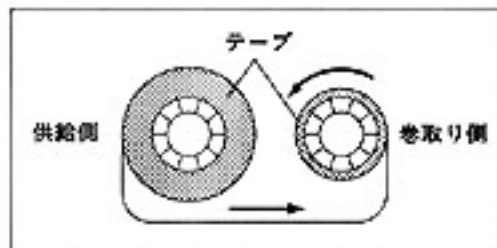
## ご注意

曲の頭出しは、曲間の無音部を利用するため、次のような場合正常に働かないことがあります。

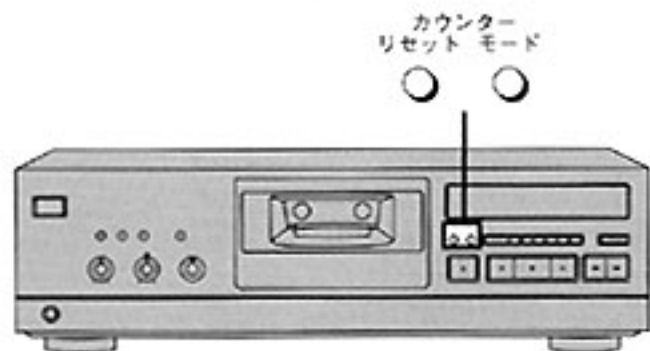
- ・曲間が4秒未満のとき
- ・無音部がないとき (マイクから録音したときなど)
- ・曲のなかで特にレベルの低いところや無音部があるとき (クラシックなど)
- ・曲の始めから10秒以下、または次の曲の頭まで10秒以下のところで◀◀または▶▶ボタンを押したとき
- ・フェードイン、フェードアウト録音されているとき

## ご注意

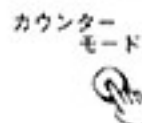
- ・巻取り側と供給側のテープの量により、高速走行しない場合があります。



再生



## カウンター表示を切り換える



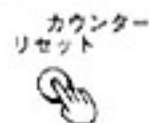
モードボタンを押し、リニアカウンターまたはテープカウンターを表示させる

リニアカウンター

テープカウンター



## カウンター表示をリセットする



リセットボタンを押し、“00.00”または“000\_”にする

### ご注意

**リニアカウンター：**  
テープ走行が裏面のときは、リニアカウンターの数字はしだいに減ってゆきます。  
“00.00”を過ぎるとマイナス表示になります。(例：“-00.08”)

**テープカウンター：**  
テープ走行が裏面のときは、テープカウンターの数字がしだいに減ってゆきます。  
“000\_”を過ぎると“999\_”になり、さらに減り続けます。

### ご注意

リニアカウンターは時計としては使用できません。テープの長さやハブの直径などにより、実際の録音・再生時間とカウンター表示との間には誤差が生じます。



- 1** ヘッドホン音量 ヘッドホン音量つまみを“小”に合わせる



- 2** ヘッドホン ヘッドホン（別売り）を接続する  
●プラグタイプ：大型ステレオプラグ



- 3** ヘッドホン音量 ヘッドホン音量つまみで音量を調整する



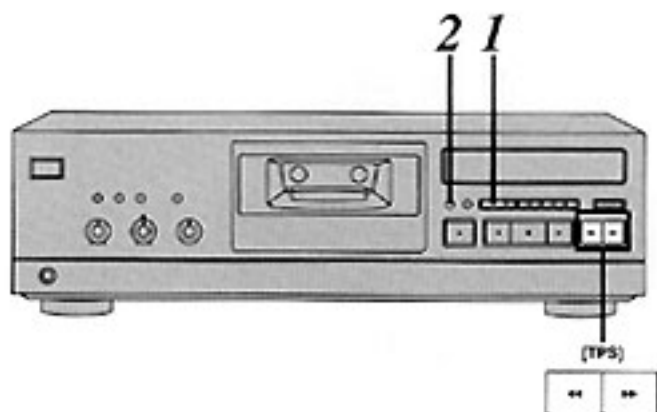
大きくするには：右へ回す  
小さくするには：左へ回す

### ご注意

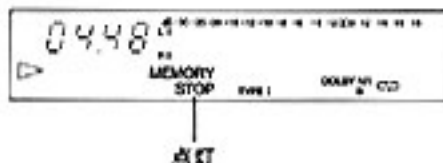
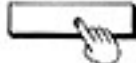
耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

# 好みの位置まで巻き戻す (メモリーストップ機能)

聞きたいところ (録音したいところ) を記憶させ、その位置まですばやく巻戻すことができます。  
 次回に再生 (録音) する時、記憶した位置からはじめることができます。



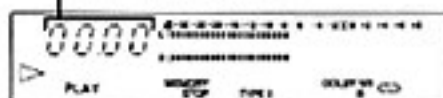
- 1** **メモリー停止** 停止中または再生中 (録音中)  
 メモリー停止ボタンを押す



- 2** **カウンターリセット** 停止中または再生中 (録音中)  
 再生 (録音) を始めたいところでリセットボタンを押し、  
 巻戻す位置を記憶させる

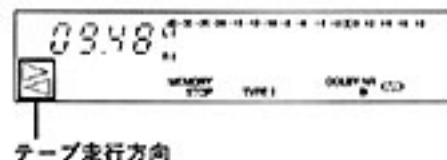
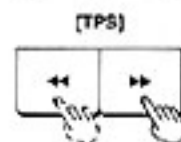


カウンターが "00.00" または "000\_"  
 にリセットされます。



## ■メモリーした位置まで巻戻すには

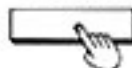
再生後 (録音後) 停止状態で  
 ◀◀または▶▶ボタンを押し、  
 巻戻す



- ◀◀: テープ走行方向が "▷" のとき
  - ▶▶: テープ走行方向が "◁" のとき
- カウンターが "00.00" または "000\_" になると自動的に止まります。

## ■メモリーストップを解除するには

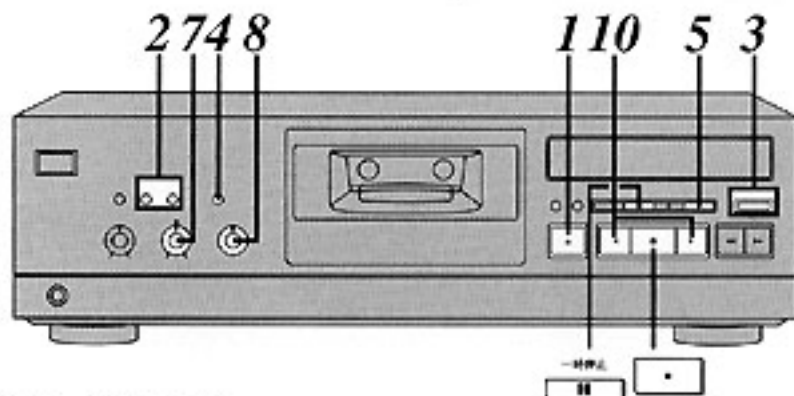
メモリー停止 メモリー停止ボタンを押す



### ご注意

- ・ "MEMORY STOP" 点灯中は、カウンターモードの切り換えはできません。
- ・ カウンターをリセットしてメモリーした位置と、実際の停止位置が多少 (最大4秒) ずれることがあります。

本機で録音するときは、ATC機能 (p14ページ) のご使用をおすすめします。  
この機能を使うと、使用するテープにふさわしい録音状態を設定することができます



## 準備

リーダーテープを巻取っておく (p13ページ)

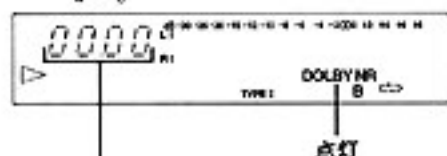
- 1** 開閉 開/閉ボタンを押し、テープを入れる



- 2** ドルビー-NR B または C ボタンを押し、ドルビー-NRのタイプを選ぶ



ドルビー-NRシステムを使って録音しないときは、表示を消してください。



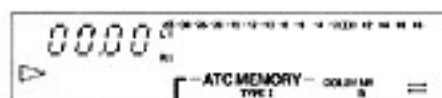
録音前には、リニアまたはテープカウンターをリセットしておくこと、再生するときに便利です。

- 3** 走行モード 走行モードボタンを押し、好みの走行モードを選ぶ



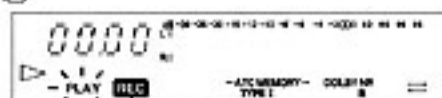
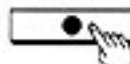
押すたびに、表示が切り換わります。  
☐: 片面だけに録音  
☐☐: 両面に録音

- 4** ATC ATC ボタンを押し、使用するテープに合った録音状態を設定する。(約1分かかります。) 設定が終わると、テープは設定前の位置に巻戻され、停止します。



設定が終わった状態 (点滅→点灯)

- 5** 録音 録音ボタンを押し、録音待機状態にする



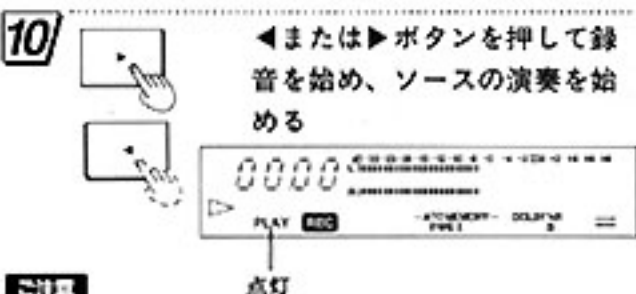
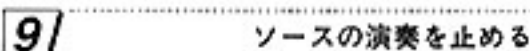
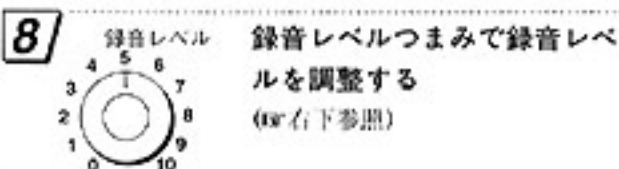
点滅 点灯

- 6** 録音するソースの演奏を始める

- 7** バランス バランスつまみを回し、中央に合わせる

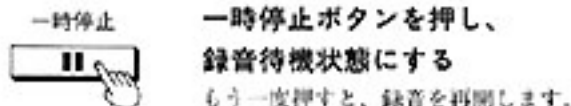


(調整が必要なときは、回して調整してください。p13ページ)

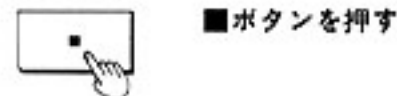


**ご注意** 両面に録音するときは、必ず▶ボタンを押してください。

#### ■一時停止するには



#### ■止めるには



■録音を始めた位置をメモリーするには  
メモリーストップ機能を使用します。(※11ページ)

#### ■ATC設定を解除するには

ATC設定中



ATC設定後



#### ■“-ATC MEMORY-”が高速点滅したら

以下のような理由でATC設定ができないことを示します。

- ・テープ終端にきたとき
- ・テープが著しく傷んでいるとき
- ・識別穴のないメタルテープなど規格外のテープを使っているとき
- ・ヘッドが汚れているとき

#### ■ご注意

- ・ATCを設定後、カセットホルダーを開けると、設定された内容は解除されます。
- ・テープの途中からATCの設定をするときは、前回の録音部分より2秒以上の無音部を設けてから、開始してください。

リーダーテープを巻取るには



#### ドルビーNRタイプの選びかた

ドルビーNRの効果は、録音時と再生時に同じタイプを使うことによって得られます。ドルビーNRシステムで録音したテープには“B”“C”の区別を明記することをおすすめします。

タイプ	録音時の使いかた	効果
B	本機以外で聞くときなど再生するデッキがBタイプだけを備えている場合	ノイズは約1/3になります。
C	再生するデッキがCタイプを備えている場合か、本機だけを使われる場合	ノイズは約1/10になり、より優れたノイズ低減効果が得られます。

#### 左右バランスを調整するには

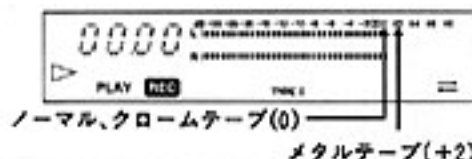
録音するソースによっては、左右のバランスが同じになるように調整する必要が生じます。その時は、レベルメーターを見ながら調整してください。



#### 録音レベルの調整

録音レベルが、高すぎるとひずみの多い録音になり、低すぎるとヒスノイズと呼ばれるテープ特有のノイズが多くなります。

上手な録音をするために、レベルメーターに表示される入力レベルの最大値が( )内の数値を越えないように録音レベルつまみで調整してください。



#### ◎参考

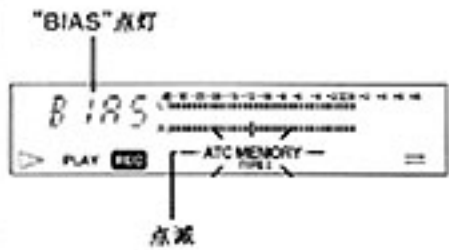
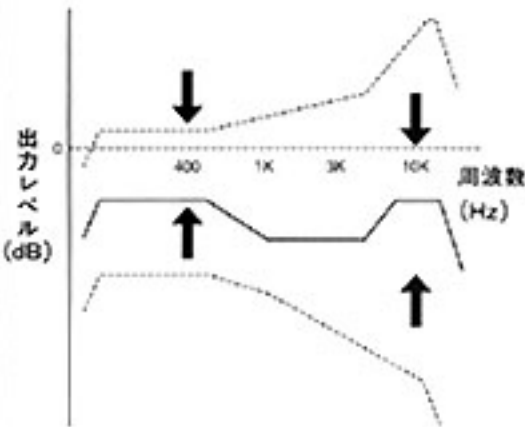
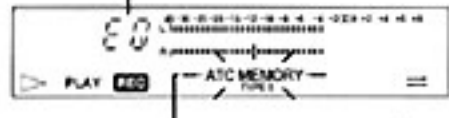
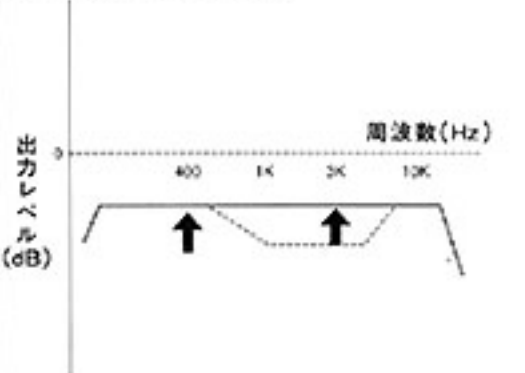
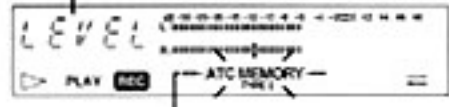
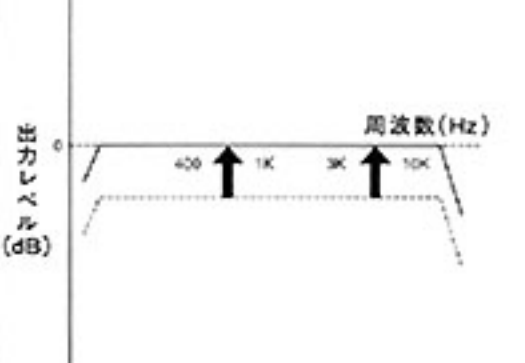
ATC機能を使用せずに録音するときは、手順4は不要です。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# ATC機能について

ATC (Auto Tape Calibration) とは、セット内部で発生させたテスト信号を録音して、テープの特性に最適のバイアス、イコライザー、テープ感度の補正を自動的に行う機能です。

ATC機能は、以下の表の通りに動作します。

	ディスプレイ	動作
①バイアスの設定	<p>"BIAS"点灯</p>  <p>点減</p>	<p>400Hzと10kHzでの出力レベルが同じになるように、バイアスを設定します。</p> 
②イコライザーの設定	<p>"EQ"点灯</p>  <p>点減</p>	<p>400Hzと3kHzでの出力レベルが同じになるように、イコライザーを設定します。</p> 
③テープ感度の補正	<p>"LEVEL"点灯</p>  <p>点減</p>	<p>録音入力レベルと、再生出力レベルが同じになるように、テープの感度を補正します。</p> 

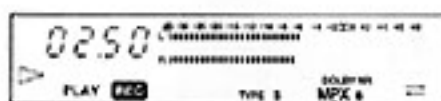
## FMステレオ放送を きれいに録音する (MPXフィルター)



MPX フィルター



FMステレオ放送の録音前に  
MPX フィルターボタンを押す



点灯

もう一度押すと消灯 (解除) します。

FMステレオ放送以外のソースを録音するときには  
必ずMPXフィルター機能を解除してください。

ご参考

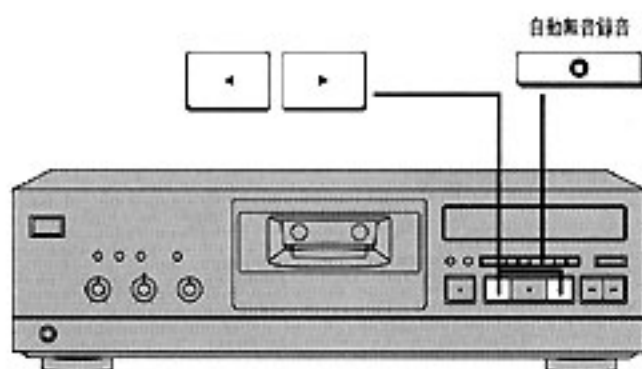
MPXフィルター機能は、再生時には影響ありません。

### MPXフィルター機能とは

FMステレオ放送には、左チャンネルと右チャンネルに分離するためのパイロット信号が含まれています。FMステレオ放送をドルビーNRで録音すると、このパイロット信号もドルビーNR処理されるため、音質が劣化したり、雑音低減効果が少なくなります。MPXフィルターを使うとパイロット信号である19kHzの単一周波数をカットできます。

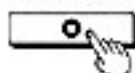
## 無音部分を作る

曲の頭出し (TPS機能) を正常にはたらかせるために約4秒間の曲間をつくったり、不要なコマーシャルなどをカットできます。



### 4秒のあきを作るには

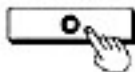
自動無音録音



録音中に  
自動無音録音ボタンをポンと  
押す  
4秒間無音で録音し、自動的に録音待  
機状態になります。

### 4秒以上のあきを作るには

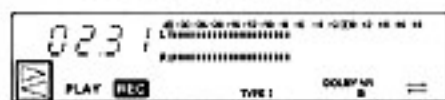
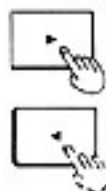
自動無音録音



録音中に  
自動無音録音ボタンを必要な  
時間だけ押し続ける  
ボタンを離すと録音待機状態になり  
ます。

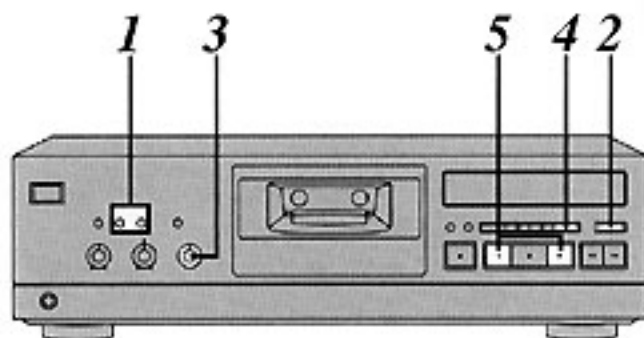
### 再び録音を始めるには

テープの走行方向を確認し、  
◀または▶ボタンを押す。



テープ走行方向

## 録音済みテープの音を消す



### 準備

録音を消すテープを入れる。

1

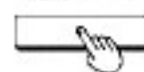
ドルビーNR  
B C



ドルビーNR BまたはCボタン  
を押し、OFF (消灯) の状態  
にする

2

走行モード



走行モードボタンを押し、走  
行モードを選ぶ。

◀▶: 片面だけ録音を消すとき  
◀▶◀▶: 両面の録音を消すとき

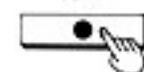
3



録音レベルつまみを回し、  
"0" に合わせる

4

録音



録音ボタンを押し、  
録音待機状態にする

5



◀または▶ボタンを押し、  
消去を開始する  
▶: おもて面の録音を消すとき  
◀: うら面の録音を消すとき

### ご注意

両面の録音を消すときは、必ず▶ボタンを押してください。











### ご参考

新たに録音すると、前に録音した音は自動的に消去されます。



# ワイヤードリモコンを使う



再生を始める	(うら面から) (おもて面から)  PLAY 
巻戻し/早送りする (停止中に) 曲の頭出しをする (再生中に)	 
録音する	 ↓ (うら面から) (おもて面から)  PLAY 
無音部分を作る	OAUTO REC MUTE 
一時的にテープを止める	PAUSE 
テープを止める	STOP 

## 90分を超えるテープについて

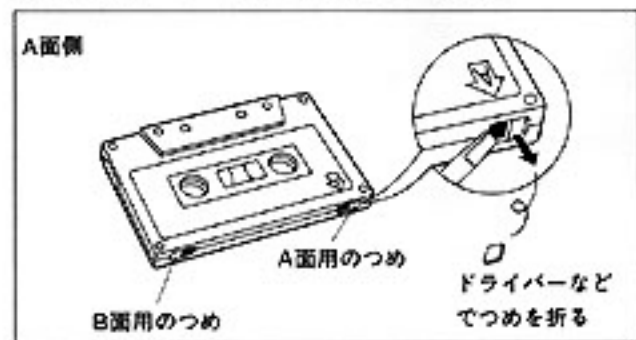
長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こまごまな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻きこまれることがありますので、ご注意ください。

## テープのたるみは巻き取ってください。

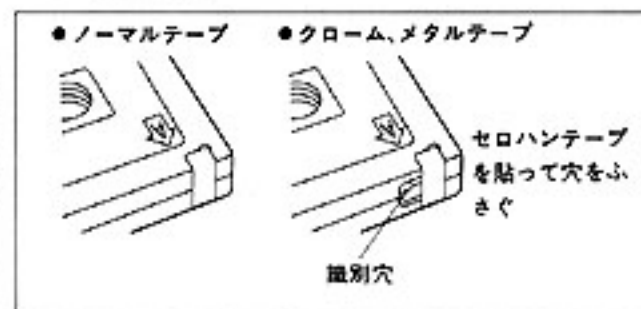
テープに傷がついたり、切れる原因になります。



## 録音済みテープを誤って消さないために



## もう一度録音するには



クローム、メタルテープのテープ種類識別穴は、ふさがないでください。

## 保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たる所
- 高温 (35°C以上) や高湿 (80%以上) の所
- 磁気のあるところ (スピーカーの近くや、テレビの上など)

## 本体のお手入れ

柔らかい布で拭いてください。

ひどい汚れは、薄い石けん水に柔らかい布を浸し、固く絞って拭きとった後、乾いた布で拭いてください。

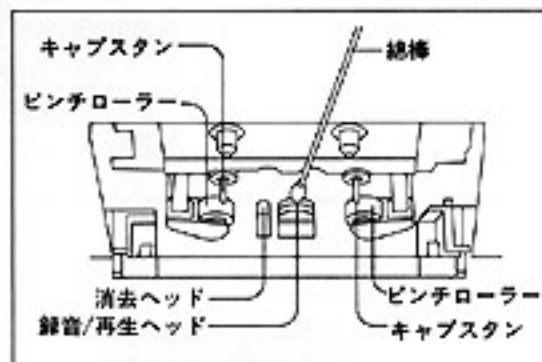
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんなどをご使用のときは、化学ぞうきんの説明をご覧ください。

## ヘッド部のお手入れ

よい音質で録音・再生するために、約10時間使うたびに清掃することをおすすめします。

- 1 カセットホルダーを開ける。
- 2 電源コードをコンセントから抜く。(カセットホルダーが開いている時に電源ボタンを押すと、ホルダーが自動的に閉まります。)
- 3 綿棒をアルコール液またはクリーニング液につけ、汚れを拭きとる。

(クリーニングキット別売り：RP-919)



## 著作権について

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを、売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部、または、最寄りの支部にお尋ねください。

### 日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3502-6551
北海道支部	☎ (011) 221-5088
盛岡支部	☎ (0196) 52-3201
仙台支部	☎ (022) 264-2266
大宮支部	☎ (048) 643-5461
東京支部	☎ (03) 3562-4455
西東京支部	☎ (03) 3232-8301
横浜支部	☎ (045) 662-6551
静岡支部	☎ (054) 254-2621
中部支部	☎ (052) 586-1155
北陸支部	☎ (0762) 21-3602
京都支部	☎ (075) 251-0134
大阪支部	☎ (06) 244-0351
神戸支部	☎ (078) 322-0561
中国支部	☎ (082) 249-6362
四国支部	☎ (0878) 21-9191
九州支部	☎ (092) 441-2285
鹿児島支部	☎ (0992) 24-6211
那覇出張所	☎ (098) 863-1228

## 定格

### ■オーディオ部

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス方式 80kHz
ヘッド	録音/再生(パーマロイ)×1 消去(ダブルギャップフェライト)×1
モーター	キャプスタンモーター(DCサーボモーター)×1 リールモーター(DCモーター)×1
ワウ・フラッター	0.07%(WRMS) ±0.14%(W, peak, EIAJ)
早巻時間	約50秒(C-60)

### 周波数特性

ノーマル:	30Hz~15kHz±3dB(EIAJ)
クローム:	30Hz~15kHz±3dB(EIAJ)
メタル:	30Hz~16kHz±3dB(EIAJ)

### SN比(クロームタイプテープ)

NR off:	56dB(WTD 1kHz, 3% 第3次ひずみ率) 54dB(EIAJ)
---------	--

Dolby B NR on: 66dB(WTD 1kHz, 3% 第3次ひずみ率)

Dolby C NR on: 74dB(WTD 1kHz, 3% 第3次ひずみ率)

### 入力感度/入力インピーダンス

ライン入力:	100mV/47kΩ
--------	------------

### 出力電圧/出力インピーダンス

ライン出力:	500mV/500Ω
ヘッドホン:	190mV/(8Ω)

(負荷インピーダンス8~600Ω)

### ■総合

電源:	AC100V, 50/60Hz
消費電力:	14W(電源オフ時は2.7W)
寸法(幅×高さ×奥行):	430×125×293mm
重量:	3.8kg

注) この定格は、性能向上のため変更することがあります。

### —音のエチケット—

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット  
シンボルマーク

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処 置
テープは走行するが再生音が出ない。	接続コードの「録音」と「再生」が逆になっていませんか。	接続コードを正しく接続する。
音が小さい、音が途切れる。 音質がよくない。雑音が多い。 音がかすれたり、ふるえる。 録音がきれいにできない。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部、ピンチローラー、キャプスタンを清掃する。
	ピンチローラー、キャプスタンに異物が付着していませんか。	
	ヘッド部が磁気を帯びていませんか。	市販のヘッド消磁器で消磁する。
録音ができない。	ドルビーNRの切り換えが間違っていないですか。	ドルビーNRの切り換えを、録音時の状態に合わせる。
	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にテープを貼る。
リモコン操作ができない。	録音レベル調整つまみの位置が「0」になっていませんか。	録音レベル調整つまみを適切なレベルに合わせる。
	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。
	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。

## アフターサービスについて

### 保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

**保証期間—お買い上げ日から1年間**

### 修理を依頼される時

上記の「故障かな!?’に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

#### ●保証期間中は

保証書の規定にしたがってお買い上げの販売店が出張修理をさせていただきます。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にご連絡ください。

### 連絡していただきたい内容

- ・ご住所・ご氏名・電話番号
- ・製品名・品番・お買い上げ日
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- ・訪問ご希望日

### ●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にご連絡ください。

### 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときお買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にお問い合わせください。

### 便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎ ( ) -	お買い上げ日	年 月 日
お近くの当社 ご相談センター	☎ ( ) -	品 番	RS-BX4010